

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-1
健康づくりの推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

薬事衛生課 田原 研司

電話番号

0852-22-5257

事務事業の名称	公害健康被害対策推進事業	
目的	(1) 対象	公害健康被害認定患者
	(2) 意図	健康被害にかかる損害を補填するための補償ならびに被害者の福祉に必要な事業を行う
事業概要	笹ヶ谷の公害健康被害者（慢性砒素中毒患者）に対する健康管理、維持を図るため、公害認定患者に対し、健康被害に対する補償給付及び健康診断を行う。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	管理健診受診率	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	(健診受診者数/健診対象者数)×100	取組目標値						
			実績値	100.0	100.0	100.0			
			達成率	-	100.0	100.0	-	-	
2	指標名		目標値					%	
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-		

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b)(千円)	2,383	3,234
うち一般財源(千円)	333	700

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

公害認定患者2名に対して、法に基づき、健康被害に対する補償及び健康診断を行った。対象者が高齢であることから、利便性を考慮し、地元で健康診断を実施しているため、健診受診率は100%となっている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

受診案内の際や健診当日には津和野町役場の職員に協力をいただき、受診者の送迎等をしてもらえるため、対象者全員の健診を実施できた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

今後は、患者の高齢化により、健診会場まで来れない状況が発生する可能性がある。

②困っている状況が発生している「原因」

患者の高齢化や、体力の衰えによる介助補助が必要となっていること

③原因を解消するための「課題」

健診会場及び健診体制の検討

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

認定患者が亡くなるまでは県として健康診断は実施する必要性はある。

患者本人が健診会場へ来ることができない場合は、健康対策管理班（医師4名）が自宅又は入所施設等へ行って実施するようなことも検討しなければならない。